

## Y01b 県立ぐんま天文台建設用地の気象状況

倉田巧、清水実、下田明英、橋本修 (県立ぐんま天文台)

県立ぐんま天文台は群馬県吾妻郡高山村に建設中であり、1999年春完成を予定している。1995年10月から現在にかけて、現地で夜間の天候についての観測を行ってきたのでその結果を報告する。

北極星を中心として35mmカメラに300mm望遠レンズを使って星野の固定撮影を夜間毎日行う。撮影時間に対する北極星の見えている時間の割合から晴天率を求める。ただし、写野に写る星の暗さから各晩の透明度に関する補正を行っている。

口径20cm望遠鏡を用いて眼視観測をもとにシーイングサイズを評価し、これを基に上記北極星写真との対比を行い、晴天率50%以上の日について1-5秒の値を割りあて、シーイングの傾向の見積りとした。実際のシーイング値と直接の比較はできないが、基準とした眼視観測と同時に測定した写真の星像から導いたシーイングサイズとの間にはよい相関があり、全体の傾向をある程度は定量的に示していると考えられる。

これらのデータから、年間を通して11月から3月にかけての晴天率が高いことが分かる。シーイングはこの時期若干悪くなるものの、年平均からのずれはそれほど大きくない。